

なかつか 亮



改善
されました

高齢者の“いのち”を守る

緊急通報システム 利用料が半額に

利用料 3月までは

介護保険料の1～2段階の方	1000円
3～6段階の方	1800円



※利用料が半額
※減額対象も拡大

利用料 4月からは

介護保険料の1～5段階の方	500円
6～9段階の方	1800円

費用は別途通信費(月300円程)が電話料金に加算。設置費は無料。対象は65歳以上の高齢者のみ世帯。

住民と共産党の共同で実現した品川区の制度について、このニュースで連載してきましたが、今回は緊急通報システムについてです。緊急通報システムとは、高齢者が自宅で倒れたり、具合が悪くなった時、ボタンひとつで緊急対応してくれる制度。今年4月から月額利用料が1000円から500円と半額になりました。

この制度は3年前までは消防型と民間型の2種類がありました。消防型は通報(ボタンをワンタッチ)すると消防庁と地域協力員3名に連絡が入り、自宅に駆けつけるシステム。利用料は無料でした。ところが品川区は07年6月に消防型の新規申込を中止。有料の民間型のみと制度を改善しました。品川生活と健康を守る会や共産党は、無料の消防型復活、民間型の無料化を求めてきました。裏へ

高齢者の孤独死

高齢者が、急に具合が悪くなったり、お風呂場で気分が悪くなったりした時、どこにも連絡が取れず残念ながら死亡する事故が増加。高齢者の孤独死は大きな社会問題となっています。

緊急通報システムは高齢者の緊急時にワンタッチで外部と連絡が取れる命綱です。

07年に制度が改悪

品川区は07年に制度を改悪。無料の消防型への申込みを中止し、新規は有料の民間型（年金年収80万円では年2万円もの利用料負担）のみとしました。所得の少ない高齢者を緊急通報システムか

ら「排除」とは許せません。

命は平等 共産党

昨年の09年3月、緊急通報システムの無料化を求める住民署名が区議会に提出されました。共産党は「命は平



等」と賛成。自民、公明、民主ら区議会与党は署名に反対、否決となりましたが、新年度予算に利用料減額が盛り込まれました。住民運動と共産党の大きな成果です。

10区では

無料の消防型継続

民間型も無料は6区

東京23区のなかで大田区や目黒区など10区は利用料無料の消防型申込みを継続。有料の民間型も、品川区の500円より安い区は23区で6区。しかも8区では民間型も区の全額補助で無料です。

共産党は引き続き、孤独死ゼロを目指し、無料の消防型復活。民間型の無料化を求めていきます。

なかつか亮

緊急通報システムについて、区役所窓口は5742・6728

おめでとう！大田病院創立60周年&本館工事完成

4月18日、大田病院創立60周年記念と本館竣工祝賀会が開催、なかつか亮も出席しました。大田病院は「無差別・平等の医療と福祉を実現」を掲げ、差額ベット代をとらない病院として毎日新聞で紹介されることもあります。当日は権守光夫理事長（ゆたか診療所院長）が挨拶。大田区の副区長を始め、多くの地域の開業医が参加するし、新たな門出を祝しました。



新病院本館前にて 左：なかつか亮

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

5月28日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室**5742-6818** 夜：事務所**3773-3231**